



関中学校だより

第5号 令和2年10月30日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-ky.ed.jp/>

おかげさま ～見方を変えてみよう～

校長 大澤 秀吉

令和2年度は、コロナウイルスの影響で今まで当たり前と考えられていたことや、多くの学校行事ができなくなっていました。

授業の進み方も昨年度の状況と同じになり、1・2年生は今、行事の準備を進めています。

1年生は、学年レクと練馬学習の二本立て、2年生は、学年レクを実施します。特に2年生は、34名の実行委員が立候補し25名が選ばれ実行委員として活動しています。「参加するすべての2年生が楽しめるもの」「安全に配慮したもの」「レクを選んだ根拠を明確に示せること」という課題を一つ一つ解決しながら企画運営を進めています。“面白そうだから、やってみたいから”だけでは周囲の人達は納得しません。自分たちで考えた多くの提案がボツになる経験は得難いものであり、生徒達にとって学年レクをやり終えた時の達成感は特別なものになることと思います。

さて、ここで考えてみましょう。コロナの“せいで”いつもの行事ができなくなった。

でも、その“おかげ”で学年レクをみんなで考えるという経験を通して、成長・変化する機会と場が与えられた。

多くのことが、見方を変えるだけで変わってきます。

「いつも失敗を指摘されるせいで、もう言われたくないと思い失敗をしないようにゆっくり進めている」

「いつも失敗を指摘されたおかげで、丁寧な信頼される仕事ができるようになった」

昔は、これをお陰様でと言っていました。

みなさんも見方を変えてみませんか。

ホッとすむいい話

*10月22日(木)地域住民の方から電話があり、「大泉第二小学校付近のガソリンスタンドで、自転車事故があり救急車が来るまで、怪我をした人に関中学校の女子生徒が付き添って来ていました」という内容のものでした。

*先週の放課後、モップのようなものを担いで校舎内を歩いている3年生を見かけました。何をしているのか問うてみたところ、彼は「整備委員会広報にも書いてしまったので学校をキレイにします。」と言って立ち去りました。

どちらの生徒も、損得や見返りに基づいた行動ではなく、自然と今はこうしようと自らの判断で行動したものではないでしょうか。とても美しいと感じました。



生徒会役員が決定しました

関中生の自主的・主体的な活動を牽引する新たなリーダーです。よろしくお願いします。

会 長 2年 Kさん

副会長 2年 Sさん

副会長 1年 Mさん

役 員 2年 Iさん

役 員 2年 Oさん

役 員 1年 Tさん

役 員 1年 Yさん

関中生の活躍

練馬区読書感想文コンクール入賞

3年 Oさん

1年 Hさん

* 入賞した二点の作文は、東京都読書感想文コンクールへの応募対象となります

納税貯蓄組合連合会・国税庁共催

中学生の「税についての作文」受賞

3年 Oさん 「東京納税貯蓄組合総連合会会長賞」

3年 Fさん 「練馬西税務署長賞」

3年 Iさん 「練馬西納税貯蓄組合連合会会長賞」

3年 Dさん 「練馬西納税貯蓄組合連合会会長賞」

3年 Kさん 「練馬西納税貯蓄組合連合会優秀賞」

練馬西間税会主催「税の標語」入選

優秀賞 3年 Oさん

佳 作 3年 Mさん

*「税の標語」入選作品は11月20日(金)～26日(木)の期間 関町図書館に展示されます。

練馬区中学校教育研究会食育部主催 「第14回 自分で作る朝ごはんコンクール」

銅 賞 1年 Mさん

*入賞作品は11月20日(金)～12月1日(火)12時までの期間 練馬区役所1階アトリウムに展示されます。